経 営 方 針

１．経営の基本方針

当社グループは、同一理念のもと、経営諸資源を一体的かつ効率的に活用し、コストとリスクの最小化に努めながら、総合的な収益力・財務体質を強化し、企業価値の最大化を追求する企業集団の構築に取り組んでまいります。

当社グループの経営基盤を強化する一方、全国13個所の当社関連セメント工場については、従来のセメント生産に加え、大量の廃棄物を受入れ再資源化するという新たな社会的役割を担ってまいります。これにより環境保全に配慮した２１世紀の資源循環型社会の実現に貢献し、企業価値の一層の増大に努めてまいります。

２. 利益配分に関する基本方針

当社グループは、長期にわたる経営基盤、とりわけ財務体質の強化を経営の優先課題として取り組み、将来的にも安定配当を継続してまいりたいと考えております。

一方、企業の競争力を維持し、業績向上を図るため、時機を得て投資を行う源泉として、 内部留保もまた不可欠であります。

安定配当の維持と内部留保充実のため、より一層の経営基盤強化に努めてまいります。

３. 中期的な経営戦略と対処すべき課題

セメント産業を取り巻く事業環境は、国内においては企業収益の改善等を背景に民間設備投資が持ち直したものの、なお公共投資は縮小が懸念され、また、グローバルな規模での企業間競争はますます激化するなど、当社グループにとって依然厳しいものが予想されます。

このような事態に対し、当社といたしましては「太平洋　01中期経営計画」に基づき、引き続きコスト削減・事業収益の増大並びに財務構造の改善に取り組んでおります。

セメント事業部門につきましては、生産・物流コストの更なる低減を図るとともに、期初より実施したＳＳ渡し制度に続き、今後も関係各位のご理解を得ながら、流通・販売制度改革に取り組んでまいります。

資源事業部門につきましては、豊富な鉱山資源の有効活用により事業拡大と収益力の向上を図るほか、埋立用土砂供給の大型プロジェクトの着実な推進に努めてまいります。

ゼロエミッション事業につきましては、廃棄物のリサイクル事業を拡大し、資源循環型社会の実現に貢献してまいります。

不動産事業につきましては、引き続き社有地の効率的な活用を推進してまいります。

海外事業につきましては、米国・中国のセメント事業を発展させるとともに、ベトナムの合弁セメント工場の安定操業に努めてまいります。また、韓国・フィリピン等新たな拠点を有機的に結び付けることで環太平洋を中心としたネットワークの拡充・整備を推進しつつ、なお一層の事業展開を図ってまいります。

一方、「太平洋　01中期経営計画」において、本計画期間 3年間で実現すべき課題であり、今後も引き続き取り組んでいく課題として、「グループ経営の強化」を取り上げております。

これまでにも構造的諸問題に直面している事業分野につきましては、各事業を戦略的に再構築するために、その事業環境の見通しや収益改善力の度合いによってグループ各社の集約化や整理を実行してまいりました。これらの事業構造改善には、今後も引き続き取り組んでまいります。

さらに、主要なグループ会社とともに一つの戦略・ビジョンのもとに一体化した経営を行うべく、グループとしての課題と方策を設定し、全体の総合力を最大限に発揮する強力な企業集団の構築に取り組んでまいります。